

## 開催校挨拶

神戸大学 学長補佐

（評価・人事企画担当）

吉井 昌彦

本日は企画評価・人事担当の理事であります水谷がお休みをいただいております、代わりにご挨拶を申し上げます。今年も第9回の大学評価担当者集會を共催できましたことを嬉しく思います。神戸大学へようこそいらっしゃいました。みなさまを歓迎申し上げます。

私自身は平成14年の試行的分野別教育評価の段階から評価に携わってまいりました。その間、部局において2度の認証評価、それから法人評価、毎年度の評価、さまざまな評価・FD活動に携わってきました。コンソーシアム副代表幹事の浅野さんが神戸大学におられたときには、彼とよく評価の仕事をいたしました。そして、本年より全学の評価を担当することになった次第です。

その10年以上の経験から感じていることが幾つかございます。一般の教職員は何ゆえに評価しているかをなかなか理解していない。それがなぜ必要か、そしてどのように行うかというのがよく分かっていない。要は与えられたマニュアルに従ってコツコツやるだけです。従って、出てきた評価をどのように大学の改善に結びつけていくかということになかなか結びつかないということを感じている次第です。

私は経済学が専門ですのでIRというとInvestor Relationsという言葉がすぐに思い浮かぶわけですが、それではなく、Institutional Researchを中心とした本日の担当者集會が、アメリカのIRを知ってわが国の大学の評価レベルをさらに一歩でも二歩でも引き上げるきっかけになればと思っております。

残念ながら今はプロジェクターを使うためにカーテンを閉めておりますが、開けていただければきれいに大阪湾が一望できます。懇親会はこの建物の1階の食堂で開かれますが、多分その頃には夜景になっているかと思えます。ぜひ眺望のよい神戸大学での懇親会を楽しみに、これからの午後、長い時間になりますが、みなさまの担当者集會での研鑽をお祈りいたしております。